



(題字 時澤 貢 学長)

第427号

(平成12年 7月号)

7月のトピックス

◇26日 第1回富山大学運営諮問会議を開催



▲ 諮問会議の様様 (名鉄トヤマホテル清風の間)

目 次

| | | | |
|-------------------------|----|------------------------------------|----|
| 関係法令 | 3 | ◆ 附属図書館、北信越地区電子ジャーナル担当 係長等会議を開催 | 18 |
| 学内規則 | 3 | ◆ 五福キャンパスの一斉清掃を実施 | 18 |
| 諸会議 | 5 | ◆ 「社会に学ぶ14歳の挑戦」－16人が本学で体 験学習－ | 19 |
| 学 事 | | ◆ 高等学校の進路指導担当教諭との懇談会を開催 | 19 |
| ◆ 第1回運営諮問会議を開催 | 6 | ◆ 海外渡航者 | 19 |
| ◆ 平成12年度文部省在外研究員派遣者の決定 | 7 | 職員 消 息 | |
| ◆ 平成13年度入学者選抜要項を公表 | 7 | ◆ 住所変更 | 21 |
| 人事異動 | 17 | ◆ 新任者住所 | 21 |
| 学内諸報 | | 主要行事 | 21 |
| ◆ 経済学部長に古田教授を再選 | 17 | | |
| ◆ 地域共同研究センター交流振興会が総会を開催 | 17 | | |



▲ 7月に刊行された「富山大学概要」と「富山大学の現状と課題2000」

関 係 法 令

(政 令)

- 教育公務員特例法施行令等の一部を改正する政令(380) (平成12. 7. 14 官報第2912号)
- 著作権法施行令の一部を改正する政令(382) (同上)

(規 則)

- 人事院規則9-2(俸給表の適用範囲)の一部を改正する人事院規則(人事院9-2-36) (平成12. 7. 10 官報第2908号)
- 人事院規則9-8(初任給, 昇格, 昇給等の基準)の一部を改正する人事院規則(同9-8-42) (同上)
- 人事院規則9-17(俸給の特別調整額)の一部を改正する人事院規則(同9-17-77) (同上)
- 教育公務員特例法等の一部を改正する法律(平成12年法律第52号)の施行に伴う関係人事院規則の整備に関

する人事院規則(同1-30) (平成12. 7. 14 官報第2912号)

(告 示)

- 教育の免許状授与所要資格を得させるための課程として認定した件(文部124) (平成12. 7. 7 官報号外第136号)
- 教育の免許状授与所要資格を得させるための養護教諭養成機関として指定した件(同125) (同上)
- 教育の免許状授与所要資格を得させるための教員養成機関として指定した件(同126~129) (同上)
- 平成13年度において教科用図書の検定の申請を行うことができる教科用図書の種目及び機関を定める件(同136) (平成12. 7. 16 官報第2919号)

学 内 規 則

国立大学の設置形態に関する検討特別委員会要項の制定

国立大学の設置形態に関する検討特別委員会要項の制定理由

国立大学の独立行政法人化の諸問題を調査し, 検討する委員会を設置するため, 所要事項を定める。

国立大学の設置形態に関する検討特別委員会要項を次のとおり制定する。

平成12年6月23日

富山大学長 時 澤 貢

国立大学の設置形態に関する検討特別委員会要項

(設 置)

第1条 富山大学評議会の下に, 国立大学の独立行政法人化の諸問題を調査し, 検討するため, 国立大学の設置形態に関する検討特別委員会(以下「特別委員会」という。)を置く。

(組 織)

第2条 特別委員会は, 次の各号に掲げる者をもって組織する。

(1) 副学長

(2) 評議員 各学部1人

(3) 学部から選出された教員各1人

(4) 事務局長

(任 期)

第3条 前条第3号の委員の任期は, 2年とし, 再任を妨げない。ただし, 欠員を生じた場合の後任の委員の任期は, 前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 特別委員会に委員長を置き, 学長が指名した副学長をもって充てる。

2 委員長は, 特別委員会を招集し, その議長となる。

ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(議 事)

第5条 特別委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会できない。

2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

3 特別委員会で検討された内容は、評議会に報告するものとする。

(意見の聴取)

第6条 特別委員会が必要と認めたときは、委員以外の

者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(庶 務)

第7条 特別委員会の庶務は、総務部総務課において処理する。

(雑 則)

第8条 この要項に定めるもののほか、特別委員会の運営に関し必要な事項は、特別委員会が定める。

附 則

この要項は、平成12年 6月23日から実施する。

富山大学の将来計画に関する検討特別委員会要項の制定

富山大学の将来計画に関する検討特別委員会要項の制定理由

大学の将来計画に関し、具体的に検討する委員会を設置するため、所要事項を定める。

富山大学の将来計画に関する検討特別委員会要項を次のとおり制定する。

平成12年 7月31日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学の将来計画に関する検討特別委員会要項

(運 営)

第4条 特別委員会は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

2 特別委員会で検討された内容は、評議会に報告するものとする。

(意見の聴取)

第5条 特別委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(庶 務)

第6条 特別委員会の庶務は、総務部企画室において処理する。

(雑 則)

第7条 この要項に定めるもののほか、特別委員会の運営に関し必要な事項は、特別委員会が定める。

附 則

この要項は、平成12年 7月31日から実施する。

(設 置)

第1条 富山大学評議会に、富山大学の理念、基本目標に基づき中・長期計画を策定するため、富山大学の将来計画に関する検討特別委員会（以下「特別委員会」という。）を置く。

(組 織)

第2条 特別委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学長が指名した副学長 1人
- (2) 学部長
- (3) 附属図書館長

2 学長、副学長（前項第1号の副学長を除く。）及び事務局長は、オブザーバーとして出席することができる。

(委員長)

第3条 特別委員会に委員長を置き、副学長をもって充てる。

富山大学の在り方に関する検討特別委員会要項の制定

富山大学の在り方に関する検討特別委員会要項の制定理由

本学の教育研究組織の在り方及び富山県内高等教育機関との連携等について調査し、検討する委員会を設置するため、所要事項を定める。

富山大学の在り方に関する検討特別委員会要項を次のとおり制定する。

平成12年7月31日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学の在り方に関する検討特別委員会要項

(設 置)

第1条 富山大学評議会に、本学の教育研究組織の在り方及び富山県内高等教育機関との連携等について調査し、検討するため、富山大学の在り方に関する検討特別委員会（以下「特別委員会」という。）を置く。

(組 織)

第2条 特別委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

(1) 学長が指名した副学長 1人

(2) 評議員 各学部1人

2 学長、副学長（前項第1号の副学長を除く。）及び事務局長は、オブザーバーとして出席することができる。

(委員長)

第3条 特別委員会に委員長を置き、副学長をもって充てる。

2 委員長は、特別委員会を招集し、その議長となる。

ただし、委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(運 営)

第4条 特別委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会できない。

2 特別委員会で検討された内容は、評議会に報告するものとする。

(意見の聴取)

第5条 特別委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(庶 務)

第6条 特別委員会の庶務は、総務部総務課において処理する。

(雑 則)

第7条 この要項に定めるもののほか、特別委員会の運営に関し必要な事項は、特別委員会が定める。

附 則

この要項は、平成12年7月31日から実施する。



第4回将来計画委員会（7月4日）

(審議事項)

(1) 委員会の今後の進め方について

第3回施設整備委員会（7月18日）

(審議事項)

(1) 施設利用規程について

第2回自己点検評価委員会（7月18日）

(審議事項)

(1) 平成11年度自己点検評価結果及び関係委員会等へ

の付託事項について

(2) 平成12年度自己点検評価項目について

第4回事務協議会（7月18日）

(協議事項)

(1) 富山大学事務協議会専門委員会内規の制定について

(2) 各専門委員会が取り組む事項等について

(3) 事務局ホームページの維持管理について

第2回附属図書館商議会（7月19日）

(審議事項)

- (1) 平成12年度学生図書購入費の予算執行について
- (2) 規則等の改正について

第4回部局長会議(7月21日)

(報告事項)

- (1) 第47回国立大学附属図書館協議会総会について
- (2) 平成13年度入学者選抜要項について
- (3) 五福地区構内一斉清掃の実施について
- (4) 奨学寄附金の受入承認について

第7回評議会(7月21日)

(審議事項)

- (1) 学生の懲戒について
- (2) 平成11年度自己点検評価結果及び付託事項について
- (3) 将来計画検討の今後の進め方について
- (4) 搜索令状に基づく学内搜索に関する評議会の開催について

第4回大学教育委員会(7月27日)

(審議事項)

- (1) 「多様な学生像に対応した教育システムの確立に

ついて(答申)」の具体化について

- (2) 入試情報開示等について
- (3) 平成12年度高等学校(進路指導担当教諭)と富山大学との入学試験に関する懇談会実施計画(案)について
- (4) 平成12年度大学説明会実施要項(案)について
- (5) 入学試験実施委員会専門委員会委員について

第3回入学試験実施委員会(7月28日)

(審議事項)

- (1) 入試情報開示に関する方針について
- (2) 平成13年度学生募集要項(案)について
- (3) 入学者選抜健康診断判定基準について

第3回総務委員会(7月28日)

(審議事項)

- (1) 発明の届け出について

第8回評議会(臨時)(7月31日)

(審議事項)

- (1) 将来計画検討の今後の進め方について
- (2) 将来計画委員会及び大学改革推進委員会の廃止について

学

事

第1回富山大学運営諮問会議を開催

7月26日(水)、第1回富山大学運営諮問会議が市内の名鉄トヤマホテルにおいて開催されました。

この諮問会議は、本年4月から全国の国立大学に設置され、各界の有識者から、大学の教育研究上の目的を達成するための基本的な事項等について助言・勧告をいただき、今後の大学運営に反映させるという目的をもちます。

会議では、時澤学長の挨拶の後、出席者の紹介が行われ、引き続いて会長に石坂誠一富山国際大学長を、副会長に中尾哲雄富山経済同友会代表幹事をそれぞれ選出しました。

次いで、大学側から平成13年度概算要求主要事項、自己点検評価の実施状況、独立行政法人化問題の経緯と対応等について報告が行われ、時澤学長から大学の理念、基本目標とそれを具体化するための課題等について説明があり、今後の大学の方向性について諮問がありました。

これを受けて各委員からは、「問題解決能力を持つ人材育成に努めるべきだ」、「国際貢献を基本目標の1つとして確立するべきだ」、「IT革命に対応した教育を積極的に推進するべきだ」など、今後の富山大学に望むこと、あるべき姿について具体的な助言がありました。

今後、これらの助言を本学の運営に反映させ、本学の発展につなげていくことが求められています。

なお、会長、副会長を除く委員は、阿部謹也共立女子大学長、井上孝美放送大学学園理事長、上野隆三(株)北日本新聞社代表取締役社長、塩井外喜子富山県婦人会会長、中沖 豊富山県知事、橋本 清富山県教育委員会教育長、本多正道富山県経営者協会会長、山田圭藏北陸経済連合会会長の各氏です。



▲ 会議の様様

平成12年度文部省在外研究員派遣者の決定

| 種 類 | 所 属 | 職 名 | 氏 名 | 主たる滞在地及び当該滞在地の属する国名並びに派遣先の機関名 | 調 査 研 究 題 目 | 派遣期間 |
|------------|------|-----|------|-------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|
| 海外研究開発動向調査 | 人文学部 | 教 授 | 前川 要 | ヨーク（イギリス） ヨーク大学 | 電磁気探査法による考古遺跡の非破壊探査手法に関する研究開発動向調査 | 13. 2. 4 ～ 13. 3. 17 |

平成13年度入学者選抜要項を公表

平成13年度富山大学入学者選抜要項が7月14日（金）に公表されました。昨年度との主な変更点及び入学者選抜の概要は次のとおりです。

平成13年度入学者選抜の概要と昨年度との主な変更点

1 一般選抜

(1) 実施方式及び実施日程

日程は、国立大学協会の「国立大学の入学者選抜についての平成13年度実施要領」に基づく変更であり年月日並びに曜日の変更が主である。

なお、【 】は、昨年度実施日程である。

- 出願期間 平成13年 1月29日(月)～2月6日(火)
【1月24日(月)～2月2日(水)】
- 検査期日 前期日程：平成13年 2月25日(日)
【2月25日(金)】
後期日程：平成13年 3月12日(月)
【3月13日(月)】
- 合格発表 前期日程：平成13年 3月7日(水)
【3月7日(火)】
後期日程：平成13年 3月21日(水)
【3月21日(火)】
- 入学手続 前期日程：平成13年 3月14日(水)、
15日(木)
【14日(火)、15日(水)】
後期日程：平成13年 3月27日(火)
【3月27日(月)】

(2) 募集人員

入学定員等

【 】は、昨年度入学定員等である。

入 学 定 員 1,435人【1,445人】



▲ 公表された入学者選抜要項及び大学案内

| | |
|---------|-------------|
| 前 期 日 程 | 857人【 876人】 |
| 後 期 日 程 | 301人【 304人】 |
| 専門高校等選抜 | 8人【 8人】 |
| 特 別 選 抜 | 269人【 257人】 |

(3) 出願資格

変更なし

(4) 入学者選抜実施教科・科目等

① 人文学部：変更なし

② 教育学部：変更なし

③ 経済学部：「前期日程」において、「大学入試センター試験の配点」を変更する。

国 語：100点 → 200点

地 歴：50点 → 100点

公 民：50点 → 100点

数 学：100点 → 200点

理 科：50点 → 100点

外国語：100点 → 200点

合 計：400点 → 800点

- ④ 理学部：変更なし
- ⑤ 工学部：
- 「電気電子システム工学科」の「大学入試センター試験の配点」
 - ・「前期日程」の一部を変更する。
 - 数学：100点 → 200点
 - 合計：500点 → 600点
 - ・「後期日程」の一部を変更する。
 - 数学：300点 → 400点
 - 合計：900点 → 1,000点
 - ・「専門高校・総合学科卒業生選抜」の一部を変更する。
 - 数学：100点 → 200点
 - 合計：500点 → 600点
- 「電気電子システム工学科」の「大学入試センター試験の利用教科・科目」
 - ・「後期日程」の「理科」について変更する。
「総理，物B，化B，生B，地学Bから1」 → 「総理，物Bから1」

2 特別選抜

(1) 実施方式及び実施日程

- 【 】は、昨年度実施日程である。
- ◎ 大学入試センター試験を課さない特別選抜（人文学部推薦入学を除く。）
 - 願書受付 平成12年11月2日(木)～11月9日(木)
 - 【11月4日(木)～11月11日(木)】
 - 検査期日 平成12年11月22日(木)
 - 【11月24日(木)】
 - 合格発表 平成12年12月1日(金)
 - 【12月3日(金)】
 - 入学手続 平成13年2月16日(金)
 - 【2月17日(木)】
 - ◎ 大学入試センター試験を課す特別選抜（人文学部推薦入学）
 - 願書受付 平成12年12月11日(月)～12月15日(金)
 - 【12月13日(月)～12月17日(金)】
 - 検査期日 平成13年1月17日(木)
 - 【1月19日(木)】
 - 合格発表 平成13年2月10日(土)
 - 【2月5日(土)】
 - 入学手続 平成13年2月16日(金)
 - 【2月17日(木)】

(2) 募集人員

- ① 人文学部全学科で推薦入学募集人員を変更する。
 - ・人文学科 7人 → 10人
 - ・国際文化学科 5人 → 8人
 - ・言語文化学科 8人 → 12人
- ② 教育学部
 - ◎ 推薦入学
 - ・情報教育課程教育情報システム専攻で募集人員を変更する。
 - 6人 → 8人
 - ◎ 帰国子女特別選抜（新規実施）
 - ・学校教育教員養成課程芸術・体育系保健体育専攻（若干名）
 - ・生涯教育課程生涯スポーツ専攻（若干名）
 - ◎ 社会人特別選抜（新規実施）
 - ・学校教育教員養成課程芸術・体育系保健体育専攻（若干名）
 - ・生涯教育課程発達臨床専攻（若干名）
 - ・生涯教育課程人間環境専攻（若干名）
 - ・情報教育課程教育情報システム専攻（若干名）
 - ・情報教育課程マルチメディア芸術専攻（若干名）
- (3) 出願資格
 - 変更なし
- (4) 入学者選抜実施教科・科目等
 - ① 人文学部：変更なし
 - ② 教育学部
 - ◎ 推薦入学
 - ・情報教育課程教育情報システム専攻
「情報関連活動調査」を審査書類に追加する。
 - ◎ 帰国子女特別選抜（新規実施）
 - ・学校教育教員養成課程芸術・体育系保健体育専攻
「大学入試センター試験及び個別学力検査を免除」，「書類審査，スポーツ活動調査，実技，面接及び健康診断の結果」にて入学者を選抜する。
 - ・生涯教育課程生涯スポーツ専攻
「大学入試センター試験及び個別学力検査を免除」，「書類審査，スポーツ活動調査，実技，面接及び健康診断の結果」にて入学者を選抜する。
 - ◎ 社会人特別選抜（新規実施）
 - ・学校教育教員養成課程芸術・体育系保健体育専攻

「大学入試センター試験及び個別学力検査を免除」, 「調査書, 志願理由書, スポーツ活動調書, 実技, 面接及び健康診断の結果」にて入学者を選抜する。

・生涯教育課程発達臨床専攻

「大学入試センター試験及び個別学力検査を免除」, 「調査書, 志願理由書, 人とのふれあいの体験及びそれに対する考え・意見を書いたもの, 面接及び健康診断の結果」にて入学者を選抜する。

・生涯教育課程人間環境専攻

「大学入試センター試験及び個別学力検査を免除」, 「調査書, 志願理由書, 人間と環境との関わりあるいは国際理解についての考え・意見を書いたもの, 面接及び健康診断の結果」にて入学者を選抜する。

・情報教育課程教育情報システム専攻

「大学入試センター試験及び個別学力検査を免除」, 「調査書, 志願理由書, 情報関連活動調書, 小論文, 面接及び健康診断の結果」にて入学者を選抜する。

・情報教育課程マルチメディア芸術専攻

「大学入試センター試験及び個別学力検査を免除」, 「調査書, 志願理由書, 小論文, 面接及び健康診断の結果」にて入学者を選抜する。

③ 経済学部：変更なし

④ 理学部：変更なし

⑤ 工学部：変更なし

3 私費外国人留学生特別選抜

(1) 実施方式及び実施日程

【 】は, 昨年度実施日程である。

○ 出願期間 平成13年1月29日(月)～2月6日(火)

【1月24日(月)～2月2日(火)】

○ 検査期日 平成13年2月25日(日)

【2月25日(金)】

○ 合格発表 平成13年3月7日(火)

【3月7日(火)】

○ 入学手続 平成13年3月14日(火), 15日(水)

【14日(火), 15日(水)】

(2) 入学者選抜実施教科・科目等

① 人文学部：変更なし

② 教育学部：変更なし

③ 経済学部：変更なし

④ 理学部

・生物学科の「本学が実施する学力検査等」を変更する。

「面接」及び「一般の選抜と同一の試験を課す」を「面接」のみとする。

⑤ 工学部：変更なし

平成13年度富山大学入学者選抜要項（抄）

1. 入学定員（募集人員）

| 学部 | 学 科・課程等 | 入 学 定 員 | 一般選抜募集人員 | | 専門高校・ 総合学科 卒業生選抜 (前期日程) | 特別選抜募集人員 | | | 備 考 | |
|-------------------|--|-----------------|----------|------|----------------------------------|----------|-----------------|-----------------|--|--|
| | | | 前期日程 | 後期日程 | | 推薦入学 | 帰国子女特別選抜 | 社会人特別選抜 | | |
| 人文学部 | 人 文 学 科 | 65 | 39 | 15 | | 10 | 若干名 | 1 | | |
| | 国 際 文 化 学 科 | 50 | 30 | 11 | | 8 | 若干名 | 1 | | |
| | 言 語 文 化 学 科 | 80 | 49 | 18 | | 12 | 若干名 | 1 | | |
| | 計 | 195 | 118 | 44 | | 30 | 若干名 | 3 | | |
| 教育学部 | 学 校 教 育 系 (教育学・学校心理学・幼児教育専攻) | 23 | 16 | 7 | | | | | | |
| | 障 害 児 教 育 系 (障 害 児 教 育 専 攻) | 7 | 5 | 2 | | | | | | |
| | 言 語 ・ 社 会 系 (国語教育・英語教育・社会科教育専攻) | 25 | 18 | 7 | | | | | | |
| | 自 然 ・ 生 活 系 (数学教育・理科教育・技術教育・家政教育専攻) | 25 | 19 | 6 | | | | | | |
| | 芸 術 ・ 体 育 系 (音楽教育・美術教育・保健体育専攻) | 20 | 8 | 4 | | 8 | 若干名 (保健体育専攻) | 若干名 (保健体育専攻) | 推薦入学は、音楽教育専攻 2名、美術教育専攻3名、 保健体育専攻3名 | |
| | 小 計 | 100 | 66 | 26 | | 8 | 若干名 | 若干名 | | |
| | 学生 教育課程 | 発 達 臨 床 専 攻 | 10 | 5 | 3 | | 2 | | 若干名 | |
| | | 生 涯 ス ポ ー ツ 専 攻 | 10 | 4 | 3 | | 3 | 若干名 | 若干名 | |
| | | 人 間 環 境 専 攻 | 20 | 14 | 6 | | | | 若干名 | |
| | | 小 計 | 40 | 23 | 12 | | 5 | 若干名 | 若干名 | |
| 情報 教育課程 | 教 育 情 報 シ ス テ ム 専 攻 | 20 | 8 | 4 | | 8 | | 若干名 | | |
| | マ ル チ メ デ ィ ア 芸 術 専 攻 | 10 | 4 | 2 | | 4 | | 若干名 | | |
| | 小 計 | 30 | 12 | 6 | | 12 | | 若干名 | | |
| 計 | 170 | 101 | 44 | | 25 | 若干名 | 若干名 | | | |
| 経済学部 | 昼間 コース | 経 済 学 科 | 155 | 100 | 31 | | 24 | 若干名 | | |
| | | 経 営 学 科 | 120 | 76 | 24 | | 20 | 若干名 | | |
| | | 経 営 法 学 科 | 100 | 64 | 20 | | 16 | 若干名 | | |
| | | 小 計 | 375 | 240 | 75 | | 60 | 若干名 | | |
| | 夜間 主コース | 経 済 学 科 | 20 | 3 | 7 | | | | 10 | |
| | | 経 営 学 科 | 20 | 3 | 7 | | | | 10 | |
| | | 経 営 法 学 科 | 20 | 3 | 7 | | | | 10 | |
| | | 小 計 | 60 | 9 | 21 | | | | 30 | |
| | 計 | 435 | 249 | 96 | | 60 | 若干名 | 30 | | |
| | 理学部 | 数 学 学 科 | 50 | 28 | 6 | | 15 | 若干名 | 1 | |
| 物 理 学 科 | | 40 | 26 | 6 | | 7 | 若干名 | 1 | | |
| 化 学 学 科 | | 35 | 22 | 7 | | 5 | 若干名 | 1 | | |
| 生 物 学 学 科 | | 35 | 23 | 5 | | 5 | 若干名 | 2 | | |
| 地 球 科 学 学 科 | | 40 | 29 | 9 | | | 若干名 | 2 | | |
| 生 物 圏 環 境 科 学 学 科 | | 30 | 19 | 5 | | 5 | 若干名 | 1 | | |
| 計 | 230 | 147 | 38 | | 37 | 若干名 | 8 | | | |
| 工学部 | 電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 学 科 | 88 | 52 | 18 | 2 | 15 | 若干名 | 1 | | |
| | 知 能 情 報 工 学 学 科 | 78 | 45 | 16 | 2 | 14 | 若干名 | 1 | | |
| | 機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 学 科 | 88 | 52 | 17 | 2 | 16 | 若干名 | 1 | | |
| | 物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 学 科 | 151 | 93 | 28 | 2 | 27 | 若干名 | 1 | | |
| | 計 | 405 | 242 | 79 | 8 | 72 | 若干名 | 4 | | |
| 合 計 | 1,435 | 857 | 301 | 8 | 224 | 若干名 | 45 | | | |

2. 平成13年度富山大学入学者選抜方法等

(1) 一般選抜（前期日程）

| 学部・学科名 | | 選抜方法等 | | 個別学力検査等 | | | | | | 専門高校・総合学科卒業生選抜 | | | | 個別学力検査等の日程 | 備考 (欠員の補充の方法等) | | |
|----------|-------------|---------|---------|----------|-------|---------|---------------------|--|---|-----------------------------------|---|----------|-------|------------|-----------------------------------|--|---------|
| | | | | 実技検査等 | | | | 2段階選抜 | | 実技検査等 | | | | | | 募集人員 | |
| | | | | 実技検査を課する | 面接を行う | 小論文を課する | 外国語におけるリスニングテストを課する | 主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う | | 第1段階の選抜による合格者数 定員に対する倍率 その他 | | 実技検査を課する | 面接を行う | | | | 小論文を課する |
| 人文学部 | 人文学科 | | | | | | | | | | | | | | 欠員補充の方法等は、9月下旬頃に発表予定の学生募集要項に記載する。 | | |
| | 国際文化学科 | ○ | × | × | × | × | | × | × | × | × | × | × | | | | |
| | 言語文化学科 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育学部 | 学校教育系 | 教育学専攻 | | | | | | | | | | | | | 2 月 25 日 (日) | ※美術教育専攻の個別学力検査等の実技検査等については、実技検査又は小論文のうちいずれかを選択させる。 | |
| | | 学校教育系 | 学校心理学専攻 | × | × | × | ○ | × | | | | | | | | | |
| | | 幼児教育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 障害児教育系 | 障害児教育専攻 | × | × | × | ○ | × | | | | | | | | | | |
| | | 言語・社会系 | 国語教育専攻 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 英語教育専攻 | ○ | × | × | × | × | | | | | | | | | |
| | 社会科教育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 自然・生活系 | 数学教育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 理科教育専攻 | ○ | × | × | × | × | | × | × | × | × | × | × | | | |
| | | 技術教育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 家政教育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 芸術・体育系 | 音楽教育専攻 | × | ○ | × | × | × | | | | | | | | | | |
| | | 美術教育専攻 | × | ○ | × | ○ | × | | | | | | | | | | |
| | | 保健体育専攻 | × | ○ | × | × | × | | | | | | | | | | |
| | 生涯教育課程 | 発達臨床専攻 | × | × | × | ○ | × | | | | | | | | | | |
| 生涯スポーツ専攻 | | × | ○ | × | × | × | | | | | | | | | | | |
| 人間環境専攻 | | ○ | × | × | × | × | | | | | | | | | | | |
| 情報教育課程 | 教育情報システム専攻 | ○ | × | × | × | × | | | | | | | | | | | |
| | マルチメディア芸術専攻 | × | × | × | ○ | × | | | | | | | | | | | |

| 選抜方法等 学部・学科名 | | | 個別学力検査等 | | | | | | 専門高校・総合学科 卒業生選抜 | | | | 個別 学力 検査 等 の 日 程 | 備 考 (欠員の補充の方法等) | |
|-----------------|-----------------|-------|--------------------------------------|-----------------------|---------------------------------|---|--|-----------------------------------|--|--------------------------------------|-----------------------|---------------------------------|------------------------------------|---------------------------|---|
| | | | 実技検査等 | | | | 2段階選抜 | | 実技検査等 | | | | | | 募 集 人 員 |
| | | | 実 技 検 査 を 課 す る | 面 接 を 行 う | 小 論 文 を 課 す る | 外 国 語 に お け る リスニングテストを課する | 主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う | 第1段階の選抜による合格者数 定員に対する倍率 その他 | 個 別 学 力 検 査 を 課 す る | 実 技 検 査 を 課 す る | 面 接 を 行 う | 小 論 文 を 課 す る | | | |
| 経済学部 | 昼間主 コース | 経済学科 | | | | | | | | | | | | 2 月 25 日 (日) | 欠員補充の方法等は、 9月下旬頃に発表予 定の学生募集要項に 記載する。 |
| | | 経営学科 | ○ | × | × | × | × | | | | | | | | |
| | | 経営法学科 | | | | | × | × | × | × | × | × | × | | |
| | 夜間主 コース | 経済学科 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 経営学科 | × | × | × | × | × | | | | | | | | |
| | | 経営法学科 | | | | | | | | | | | | | |
| 理学部 | 数 学 科 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 物 理 学 科 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 化 学 科 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 生 物 学 科 | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| | 地 球 科 学 科 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 生 物 圏 環 境 科 学 科 | | | | | | | | | | | | | | |
| 工学部 | 電気電子システム工学科 | | | | | | | | | | | | 2人 | | |
| | 知能情報工学科 | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | 2人 | | |
| | 機械知能システム工学科 | | | | | | | | | | | | 2人 | | |
| | 物質生命システム工学科 | | | | | | | | | | | | 2人 | | |

- (注) 1. ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示す。
 2. ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。
 3. 調査書に㊸標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)

(2) 一般選抜（後期日程）

| 学部・学科名 | | 選抜方法等 | | 個別学力検査等 | | | | | | 専門高校・総合学科 卒業生選抜 | | | | 個別 学力 検査 等 の 日 程 | 備 考 (欠員の補充の方法等) | | | |
|--|-----------------------|------------------------------|-------------------|---------------------------------|-------------------------------------|--|---|---|---|------------------------|-------------|------------------------------------|-------------------|------------------------------------|---------------------------|------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| | | 個別 | | 実技検査等 | | 2 段階選抜 | | | | 個別 | | 実技検査等 | | | | 募 集 人 員 | | |
| | | 学力 検査 を 課 す る | 面接 を 行 う | 小 論 文 を 課 す る | 外国語 における リスニング テストを課 する | 主として、調査書 の内容と大学入試 センター試験の成 績により第1段階 選抜を行い、その 合格者について更 に必要な検査等 を行う | | | | 第1段階の 選抜による 合格者数 | そ の 他 | 個別 学力 検査 を 課 す る | 面接 を 行 う | | | | 小 論 文 を 課 す る | 外国語 における リスニング テストを課 する |
| 人 文 学 部 | 人 文 学 科 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 国 際 文 化 学 科 | × | × | × | ○ | × | | × | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| | 言 語 文 化 学 科 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学 校 教 育 教 員 養 成 課 部 | 学 校 教 育 系 | 教育学専攻 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 学校心理学専攻 | × | × | × | ○ | × | | | | | | | | | | | |
| | | 幼児教育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 障 害 児 教 育 系 | 障害児教育専攻 | × | × | × | ○ | × | | | | | | | | | | | |
| | | 言 語 ・ 社 会 系 | 国語教育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 英語教育専攻 | × | × | × | ○ | × | | | | | | | | | | |
| | 社会科教育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 自 然 ・ 生 活 系 | 数学教育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 理科教育専攻 | × | × | ○ | × | × | | | | | | | | | | | |
| | | 技術教育専攻 | | | | | | | × | × | × | × | × | × | × | × | | |
| | | 家政教育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 芸 術 ・ 体 育 系 | 音楽教育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 美術教育専攻 | | × | ○ | × | × | × | | | | | | | | | | | | |
| 保健体育専攻 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生 涯 教 育 課 程 | 発 達 臨 床 専 攻 | × | × | × | ○ | × | | | | | | | | | | | | |
| | 生 涯 ス ポ ー ツ 専 攻 | × | ○ | × | × | × | | | | | | | | | | | | |
| | 人 間 環 境 専 攻 | × | × | × | ○ | × | | | | | | | | | | | | |
| 情 報 教 育 課 程 | 教 育 情 報 シ ス テ ム 専 攻 | × | × | × | ○ | × | | | | | | | | | | | | |
| | マ ル チ メ デ ィ ア 芸 術 専 攻 | × | × | ○ | ○ | × | | | | | | | | | | | | |

欠員補充の方法等は、
9 月下旬頃に発表予
定の学生募集要項に
記載する。

3
月
12
日
(月)

| 選抜方法等 学部・学科名 | | | 個別学力検査等 | | | | | | | 専門高校・総合学科 卒業生選抜 | | | | | 個別 学力 検査 等 の 日 程 | 備 考 (欠員の補充の方法等) | |
|-----------------|-----------------|-------|------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------|---------------------------------|---------------------|--|----------------|------------------------------------|----------|-----|--------------------------------------|-----------------------|------------------------------------|---------------------------|--|
| | | | 個別 学力 検査 を 課 す る | 実技検査等 | | | | 2段階選抜 | | 個別 学力 検査 を 課 す る | 実技検査等 | | | | | | 募 集 人 員 |
| | | | | 実 技 検 査 を 課 す る | 面 接 を 行 う | 小 論 文 を 課 す る | 外国語におけるリスニングテストを課する | 主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う | 第1段階の選抜による合格者数 | | 定員に対する倍率 | その他 | 実 技 検 査 を 課 す る | 面 接 を 行 う | | | |
| 経済学部 | 昼間主 コース | 経済学科 | | | | | | | | | | | | | | 3 月 12 日 (月) | 欠員補充の方法等は、 9月下旬に発表予 定の学生募集要項に 記載する。 |
| | | 経営学科 | ○ | × | × | × | × | | | | | | | | | | |
| | | 経営法学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 夜間主 コース | 経済学科 | | | | | | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| | | 経営学科 | ○ | × | × | × | × | | | | | | | | | | |
| | | 経営法学科 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 理学部 | 数 学 科 | × | × | × | × | × | | | | | | | | | | | |
| | 物 理 学 科 | × | × | × | ○ | × | | | | | | | | | | | |
| | 化 学 科 | × | × | × | ○ | × | | | | | | | | | | | |
| | 生 物 学 科 | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | | | |
| | 地 球 科 学 科 | × | × | × | × | × | | | | | | | | | | | |
| | 生 物 圏 環 境 科 学 科 | × | × | ○ | × | × | | | | | | | | | | | |
| 工学部 | 電気電子システム工学科 | × | × | × | × | × | | | | | | | | | | | |
| | 知能情報工学科 | × | × | × | × | × | | | | | | | | | | | |
| | 機械知能システム工学科 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | | | |
| | 物質生命システム工学科 | × | × | ○ | × | × | | | | | | | | | | | |

- (注) 1. ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示す。
 2. ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。
 3. 調査書に㊸標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)

(3) 特別選抜

| 学部・学科名 | | 選抜方法等 | 推 薦 入 学 | | | | | | | 帰国子女・社会人等のための特別選抜 | | | 備 考 (欠員の補充の方法等) | |
|-----------------|-------------|---------------|--|-------------------------|---------------------------------------|-------|---|---|-----|-------------------|---------|-----------------|--------------------|-------|
| | | | 入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する | | | | | | | 推 薦 入 学 募 集 人 員 | 帰 国 子 女 | 中 国 引 揚 者 等 子 女 | | 社 会 人 |
| | | | 個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する | 個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する | 実 技 検 査 等 | | | | | | | | | |
| 実 技 検 査 を 課 す る | 面 接 を 行 う | 小 論 文 を 課 す る | | | 外 国 語 に お け る リ ス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る | そ の 他 | | | | | | | | |
| 人文学部 | 人文学科 | | | | | | | | 10人 | | | | | |
| | 国際文化学科 | ○ | × | × | × | ○ | × | × | 8人 | ○ | × | ○ | | |
| | 言語文化学科 | | | | | | | | 12人 | | | | | |
| 教育学部 | 学校教育系 | 教育学専攻 | | | | | | | | | | | | |
| | | 学校心理学専攻 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | | 幼児教育専攻 | | | | | | | | | | | | |
| | 障害児教育系 | 障害児教育専攻 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| | 言語・社会系 | 国語教育専攻 | | | | | | | | | | | | |
| | | 英語教育専攻 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | | 社会科教育専攻 | | | | | | | | | | | | |
| | 自然・生活系 | 数学教育専攻 | | | | | | | | | | | | |
| | | 理科教育専攻 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| | | 技術教育専攻 | | | | | | | | | | | | |
| | | 家政教育専攻 | | | | | | | | | | | | |
| | 芸術・体育系 | 音楽教育専攻 | | | | | | | | 2人 | | | × | |
| | | 美術教育専攻 | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | 3人 | × | × | × | |
| | | 保健体育専攻 | | | | | | | | 3人 | ○ | | ○ | |
| 生涯教育課程 | 発達臨床専攻 | × | ○ | × | ○ | × | × | × | 2人 | × | × | ○ | | |
| | 生涯スポーツ専攻 | × | ○ | × | ○ | × | × | × | 3人 | ○ | × | ○ | | |
| | 人間環境専攻 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | | |
| 情報教育課程 | 教育情報システム専攻 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | 8人 | × | × | ○ | | |
| | マルチメディア芸術専攻 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | 4人 | × | × | ○ | | |

| 選抜方法等 | | 推 薦 入 学 | | | | | | | 婦国子女・社会人等のための特別選抜 | | | 備 考 | |
|----------|-------------|--|-------------------------|-----------|---------------------|-----|----|----------|------------------------|----------|-----|---|-----------------|
| | | 入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する | | | | | | | 婦国子女 | 中国引揚者等子女 | 社会人 | | |
| | | 個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する | 個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する | 実 技 検 査 等 | | | | | | | | | 推 薦 入 学 募 集 人 員 |
| 実技検査を課する | 面接を行う | | | 小論文を課する | 外国語におけるリスニングテストを課する | その他 | 人数 | | | | | | |
| 学部・学科名 | | | | | | | | | | | | | |
| 経済学部 | 昼間主コース | 経済学科 | | | | | | 12人 | | | | 推薦入学について 各学科の募集人員欄中、上段は職業教育を主とする学科以外の学科を、また、下段は職業教育を主とする学科を対象とした募集人員をそれぞれ示す。 | |
| | | 経営学科 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | ○ | × | | |
| | | 経営法学科 | | | | | | | 10人 10人 8人 8人 | | | | |
| | 夜間主コース | 経済学科 | | | | | | | | | | | |
| | | 経営学科 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | | ○ |
| | | 経営法学科 | | | | | | | | | | | |
| 理学部 | 数学科 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | 15人 | | | ○ | |
| | 物理学科 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | 7人 | | | | |
| | 化学科 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | 5人 | | | | |
| | 生物学科 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | 5人 | | | | |
| | 地球科学科 | × | × | × | × | × | × | × | | | | | |
| | 生物圏環境科学科 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | 5人 | | | | |
| 工学部 | 電気電子システム工学科 | | | | | | | 9人 6人 | | | | 推薦入学について ① 面接には、基礎学力に関する試問を含む。 ② 各学科の募集人員欄中、上段は普通科・理数科を、また、下段は専門教育を主とする学科(工業)及び総合学科を対象とした募集人員をそれぞれ示す。 | |
| | 知能情報工学科 | | | | | | | 8人 6人 | | | | | |
| | 機械知能システム工学科 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × | 10人 6人 | ○ | × | | ○ |
| | 物質生命システム工学科 | | | | | | | 16人 | | | | | |
| | | | | | | | | 11人 | | | | | |

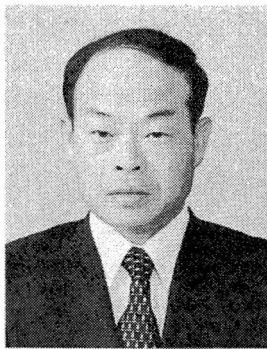
- (注) 1. ○印は、当該検査等を課すること又は該当することを示す。
 2. ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示す。
 3. 調査書に㊸標示を希望する。(入学者選抜方法の研究資料として利用するため)

人 事 異 動

| 異動区分 | 発令年月日 | 氏 名 | 異動前の所属官職 | 異 動 内 容 |
|------|----------|---------|------------------------|------------------|
| 採 用 | 12. 7. 1 | 仲 嶺 政 光 | | 講 師 生涯学習教育研究センター |
| | " | 片 山 進 | | 技能補佐員（厚生課調理師） |
| 昇 任 | 12. 7. 1 | 呉 羽 長 | 助教授 教育学部（国語教育） | 教 授 教育学部（国語教育） |
| 転 任 | 12. 7. 1 | 堀 田 龍 也 | 助教授 教育学部（附属教育実践総合センター） | 助教授 静岡大学 情報学部 |
| 退 職 | 12. 7. 1 | 片 山 進 | 技能補佐員（厚生課調理師） | 平成12年6月30日限り退職 |

学 内 諸 報

経済学部長に古田教授を再選



古田俊吉経済学部長の任期が、平成12年9月29日に満了することに伴い、経済学部教授会は7月5日（水）に次期学部長候補者選挙を行いました。その結果、古田俊吉教授が再選されました。任期は、平成12年9月30日から2年間。

古田教授は、昭和45年3月富山大学経済学部を卒業、同47年3月神戸商科大学大学院経済学研究科修士課程を修了、同50年3月神戸商科大学大学院経済学研究科博士後期課程を単位取得退学後、同年4月長崎県立国際経済大学講師に採用、同54年4月同助教授を経て、同58年4月富山大学経済学部助教授に採用され、平成3年8月同教授となり、現在に至っています。

この間、平成9年8月から評議員を、同10年9月から

経済学部長を併任されています。専門は、財政学、富山県出身。

（就任の抱負）

一昨年10月の大学審議会答申を受け、学校教育法、国立学校設置法、教育公務員特例法の一部改正、予算配分方式の変更など矢継ぎ早に制度改革が行われたことから、この2年間は対応に追われどおしでした。

制度改革に関して、最近ではさらに、文部省が国立大学の独立行政法人化問題について平成14年3月までに調査検討会議の取り纏めを行う予定、ということが付け加わりました。

弾丸雨霰というのは、正にこのような状況をいうのではないのでしょうか。困難を切り抜けるためには、全学的に協力し事に当たる以外にないと思います。

皆様方のご指導とご鞭撻を切にお願い申し上げます。

地域共同研究センター交流振興会が総会開催

地域共同研究センター交流振興会の総会が、7月5日（水）に開催されました。

この交流振興会は県内の企業が中心となって、地域共同研究センターの事業支援、事業運営に対する有益な提言を行うことを目的として、平成4年3月に設立されたものです。

理事会に続いて開催された総会には、会員企業及び地

域共同研究センター長、工学部長ら36人が出席し、今年度の事業計画及び予算が決定されました。

総会に引き続き、談話会が開催され、講演会と交流振興会募集のプロジェクト研究の研究成果が報告されました。

講演会は、講師に阿部武夫富山化学工業（株）専務取締役を迎え「企業側から見た産学協同について」と題し

講演が行われ、日本型産学協同の特長、問題点及び産学協同の成功の条件等について、具体例を示し説明がありました。続いて、研究成果報告会が行われ、工学部小泉邦雄教授から「高齢者の在宅和式生活支援機器の開発」の研究成果が、また、同小野 慎講師から「ペプチド性酵素阻害剤の開発と応用」の研究成果がそれぞれ報告されました。

会場となった工学部106講義室には約70人が出席して、メモを取るなど熱心に聴講していました。



▲ 総会風景

附属図書館、北信越地区電子ジャーナル担当係長等会議を開催

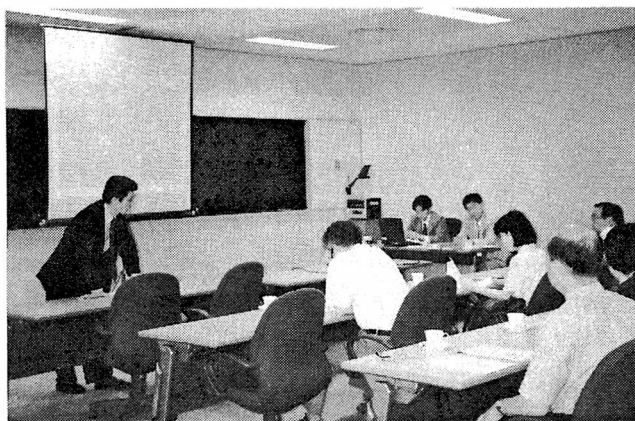
附属図書館では、7月6日（木）、北信越地区電子ジャーナル担当係長等会議を開催し、同地区の9国立大学附属図書館から20名が出席しました。

会議では、①電子ジャーナルの効果的予算執行と学内広報について、②電子ジャーナルの分野別学内ニーズについて、③電子ジャーナルトライアルについて、が話し合われました。

電子ジャーナル問題は、6月28・29日、金沢市で開催された国立大学図書館協議会総会で特に取り上げて議論を行ったことから、価格面も含め今後の各大学の課題となっており、地区内の情報交換も活発に行われました。

併せて、OCLC FirstSearch ECO（書誌データベース80種類と電子ジャーナル2530誌）のデモンストレーション

が行われ、本年9月を目途に地区内の10大学で無料トライアルを行うことになりました。



▲ 会議風景（附属図書館会議室）

五福キャンパスの一斉清掃を実施

去る7月10日（月）、五福キャンパスの一斉清掃が実施されました。

この一斉清掃は、「教育研究の場にふさわしい学園環境の維持」を目的に、毎年2回実施しているものです。

今回も、教職員・学生に呼び掛け、時澤学長をはじめ坂田事務局長、教職員、学生約330人が猛暑の中、一斉にキャンパス内の空き缶や紙くず拾い、溝の清掃や除草等を行い、心地良い汗を流しました。



▲ 率先して清掃する時澤学長（中央）

「社会に学ぶ14歳の挑戦」—16人が本学で体験学習—

去る7月10日から14日の間、富山市立西部中学校生徒16人が本学において体験学習「社会に学ぶ14歳の挑戦」を行いました。

この体験学習は、富山県教育委員会が昨年度から推進しているもので、「子どもたちの生きる力」と「地域の子どもは地域で育てる」ことを大きな目標としています。

今年度は、附属図書館、総合情報処理センター、地域共同研究センター、理学部及び工学部の5部局が受入協力を行い、それぞれ専任スタッフと特色あるプログラムを準備して、熱心に生徒達を指導しました。



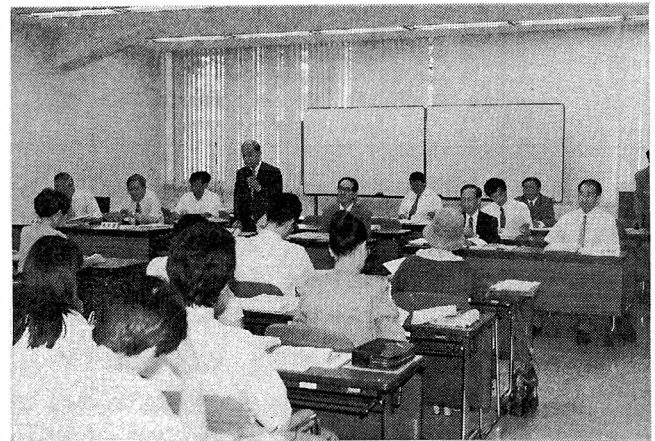
▲ 図書情報検索システムの説明を聞く中学生達 (附属図書館)

高等学校の進路指導担当教諭との懇話会を開催

去る7月18日(火)に「平成12年度高等学校と富山大学との入学試験に関する懇談会」が開催されました。

この懇談会は、本学の入試内容や教育内容などについて理解を得ることを目的に毎年開催しており、今回は、富山県のほか、石川、福井、岐阜及び新潟県から高等学校進路担当教諭86人と、本学から能登谷副学長はじめ各学部入試関係委員など16人が出席して行われました。

懇談会では、本学側から平成13年度入学試験の概要や各学部(学科・課程)の特色などについて説明した後、高等学校側から本学に対する質問・要望等が寄せられました。その後、活発な意見交換が行われ、充実した懇談会となりました。



▲ 本学の特色を説明する能登谷副学長

海 外 渡 航 者

| 渡航の種類 | 所 属 | 職 | 氏 名 | 渡 航 先 国 | 目 的 | 期 間 |
|-----------|-------|---------|---------|------------------------------------|--|---------------|
| 外国出張 | 人文学部 | 教授 | 前 川 要 | イ ギ リ ス | The SOCIETY for EAST ASIAN ARCHAEOLOGY 会議に出席, 研究発表, 討議 | 12. 7. 3 } |
| | 工 学 部 | 教授 | 池 野 進 | ドイ ツ ベルギー チェコ ポーランド | 第12回ヨーロッパ電子顕微鏡学会 に出席 | 12. 7. 6 } |
| | | | | | | 12. 7. 20 |
| | 工 学 部 | 助教授 | 松 田 健 二 | ドイ ツ ベルギー チェコ ポーランド | 第12回ヨーロッパ電子顕微鏡学会 に出席 | 12. 7. 6 } |
| 12. 7. 20 | | | | | | |
| 工 学 部 | 助教授 | 會 澤 宣 一 | イ ギ リ ス | 第34回配位化学国際会議 (ICCC34) に出席, 研究発表 | 12. 7. 7 } | |
| | | | | | 12. 7. 15 | |

| 渡航の種類 | 所 属 | 職 | 氏 名 | 渡 航 先 国 | 目 的 | 期 間 |
|-------|------|-----|---------|--------------------------|--|--------------------------|
| 外国出張 | 工学部 | 教授 | 龍山 智 栄 | アメリカ合衆国 | 第10回固体薄膜と表面に関する国際会議に出席, 研究発表 | 12. 7. 9 } 12. 7. 16 |
| | 理学部 | 教授 | 岡部 俊 夫 | チェコ ポーランド ベルギー | 第12回電子顕微鏡ヨーロッパ会議に出席, 研究打合せ | 12. 7. 12 } 12. 7. 24 |
| | 理学部 | 教授 | 川崎 一 朗 | アメリカ合衆国 | コアダイナミクスとD"層サイレント地震に関する共同研究 | 12. 7. 16 } 12. 8. 27 |
| | 人文学部 | 講師 | 阿部 美 規 | ド イ ツ | ドイツ語教育担当教員研修に参加 | 12. 7. 22 } 12. 8. 21 |
| | 人文学部 | 助教授 | 呉 人 恵 | ロ シ ア | コーリャク語資料収集 | 12. 7. 23 } 12. 9. 12 |
| | 理学部 | 助教授 | 大藤 茂 | 中 国 | 鉱床学(構造解析)の研究のため | 12. 7. 24 } 12. 9. 6 |
| | 工学部 | 教授 | 松木 賢 司 | アメリカ合衆国 | 先端材料の超塑性国際会議(ICSAM 2000)に出席, 研究発表 | 12. 7. 29 } 12. 8. 8 |
| | 工学部 | 助教授 | 西村 克 彦 | ブラジ ル | NMM2000磁気会議に出席, 研究発表 | 12. 7. 30 } 12. 8. 13 |
| | 理学部 | 助手 | 渡邊 了 | オ ラ ン ダ | 電気インピーダンス測定による岩石内の液体の形態変化に関する研究 | 12. 7. 31 } 12. 10. 1 |
| | 理学部 | 教授 | 石川 義 和 | ブラジ ル | 核磁性に関するサテライト会議に出席, 研究資料収集 | 12. 7. 31 } 12. 8. 14 |
| 海外研修 | 教育学部 | 教授 | 中村 義 朗 | 中 国 | 合唱事情に関する調査 | 12. 7. 1 } 12. 7. 5 |
| | 工学部 | 助教授 | 佐々木 基 文 | 中 国 | 第3回アジア制御会議に出席, 研究発表 | 12. 7. 3 } 12. 7. 8 |
| | 理学部 | 教授 | 金森 寛 | イ ギ リ ス | 第34回配位化学国際会議に出席, 発表 | 12. 7. 7 } 12. 7. 18 |
| | 工学部 | 講師 | 佐竹 信 一 | アメリカ合衆国 | 自由表面流のモデリング解析 | 12. 7. 11 } 12. 9. 13 |
| | 教育学部 | 教授 | 西川 友 之 | ギ リ シ ャ | オリンピック世界男子最終予選会(バレーボール)の運営に関する調査研究 | 12. 7. 20 } 12. 7. 28 |
| | 人文学部 | 教授 | 梅村 智恵子 | ス ウ ェ ー デ ン デ ン マ ー ク | 第27回国際心理学会に出席 | 12. 7. 22 } 12. 8. 1 |
| | 教育学部 | 助教授 | 布村 忠 弘 | 中 国 | バレーボール全日本女子選手の海外遠征における健康管理・コンディショニングに関する研究 | 12. 7. 22 } 12. 7. 30 |
| | 理学部 | 教授 | 小松 美英子 | モ ー リ シ ャ ス | ウデナガカスリモジガイにおける“交尾”習性と発生に関する研究 | 12. 7. 27 } 12. 8. 10 |
| | 教育学部 | 教授 | 古川 政 明 | 中 国 | 道具のルーツと伝統的物創りの現場の調査 | 12. 7. 27 } 12. 8. 3 |
| | 人文学部 | 助教授 | 末岡 宏 | 中 国 | 近代中国史に関する文献調査 | 12. 7. 29 } 12. 8. 23 |

職 員 消 息

《住所変更》

| 部 局 | 職 | 氏 名 |
|---------|------------------------|-----------|
| 経 理 部 | 文部事務官 (給与係主任) | 永 井 昭 光 |
| 教 育 学 部 | 文 部 教 官 (助 教 授) | 深 見 友 紀 子 |
| 教 育 学 部 | 文 部 教 官 (附属小学校養護教諭) | 濱 谷 昌 代 |
| 経 済 学 部 | 文 部 教 官 (助 教 授) | 鈴 木 基 史 |

《新任者住所》

| 部 局 | 職 | 氏 名 |
|--------------------|-----------------------|---------|
| 生涯学習教育 研究センター | 文 部 教 官 (講 師) | 仲 嶺 政 光 |
| 人 文 学 部 ・ 理 学 部 | 事 務 補 佐 員 (物理学・化学) | 田 村 真 紀 |

主 要 行 事

本 部

- | | | | |
|------|-----------------------------|--------|--------------------------------|
| 7月3日 | 物品請求・予算照会システム稼働 | 8～9日 | 大学教員懇談会（八王子市 大学セミナーハウス） |
| 4日 | 辞令交付 | 10日 | 事務局連絡会 事務局一斉清掃 |
| | 第8回運営会議 | 10～14日 | 体験学習事業「社会に学ぶ14歳の挑戦」の中学生16名を受入れ |
| | 第1回自己点検評価委員会研究活動等専門委員会 | 11日 | 第9回運営会議 第3回教養教育検討特別委員会 |
| | 事務局連絡会 | 12～17日 | 定期健康診断 |
| | 第4回将来計画委員会 | 12～13日 | 文部省概算要求ヒアリング |
| 5日 | 第3回国際交流委員会留学生部会 | 13日 | 文部省人事関係ヒアリング 文部省事務局長ヒアリング |
| | 北陸三県大学学生交歓芸術祭運営委員会 | | 第2回自己点検評価委員会管理運営専門委員会 |
| 6日 | 第1回自己点検評価委員会管理運営専門委員会 | 17日 | 辞令交付 |
| | 第3回水質保全センター運営委員会 | | 事務局連絡会 |
| 6～7日 | 富山消防署査察 | | 第10回運営会議 |
| 7日 | 新規学卒雇用フォーラム（第一イン新湊） | | 第7回教育研究基盤校費検討委員会 |
| 8日 | 第52回北陸地区国立大学体育大会開会式（福井医科大学） | | |

- 17～18日 厚生補導研究協議会（東京大学山上会館）
- 18日 第3回施設整備委員会
第2回自己点検評価委員会
第1回安全管理委員会
第4回事務協議会
高校と大学との入試懇談会（黒田講堂会議室）
率先実行計画地方支分部局職員等説明会（富山合同庁舎）
第4回教養教育実施専門委員会
- 21日 第4回部局長会議
第7回評議会
- 24日 事務局連絡会
- 25日 第11回運営会議
- 25～28日 平成12年度東海・北陸・近畿地区学生補導厚生研究会東海・北陸地区研修会（愛知レクリエーションセンター）
平成12年度東海・北陸地区国立学校等技術専門職員研修（機械コース）（金沢大学，本学）
- 26日 第1回運営諮問会議（名鉄トヤマホテル）
前学期授業終了
文部省共済組合監査
文部省人事課給与班給与関係事務調査
- 27日 平成12年度学校図書館司書教諭講習（～8月10日 黒田講堂会議室）
富山県大学学生部懇談会（富山短期大学）
第4回大学教育委員会
- 28日 第3回入学試験実施委員会
第3回総務委員会
第4回教養教育検討特別委員会
- 31日 辞令交付
第8回評議会（臨時）
第1回国際交流会館運営委員会
事務局連絡会

人文学部

- 7月5日 学部教務委員会
学部自己点検評価委員会
学部将来計画委員会
- 10日 学部特別昇給委員会
学部入学試験委員会
- 11日 学部予算委員会
- 12日 教授会
- 19日 学部教務委員会

- 学部将来計画委員会
26日 研究科委員会
教授会

教育学部

- 7月3日 学部広報委員会
附属養護学校学校説明会（中学部・高等部）
- 4日 学部留学生委員会
附属養護学校学校説明会（小学部）
- 5日 学部入学試験委員会
学部予算委員会
- 6日 附属養護学校避難訓練
- 6～7日 富山消防署立入査察
- 10日 学部将来計画委員会
学部一斉清掃
- 12日 教授会
人事教授会
- 14日 職員健康診断
- 17日 附属幼稚園第1学期終業式
- 19日 学部学生生活委員会
学部教務委員会
学部広報委員会
附属小学校，中学校及び養護学校第1学期終業式
- 25日 学部留学生委員会
- 26日 学部入学試験委員会
- 27日 研究科委員会小委員会
- 31日 教育方法改善（FD）推進検討委員会

経済学部

- 7月5日 経済学部長候補者選挙
教授会
研究科委員会小委員会
学部教務委員会
- 6日 学部学生生活委員会
- 10日 学部入学試験委員会
財務委員会
- 12日 助手業務見直し検討委員会
人事基本問題検討委員会
人事教授会
研究科委員会
教授会

19日 教官懇談会
カリキュラム改正に関する公聴会
学部自己点検評価委員会
25日 学部教務委員会
26日 学部学生生活委員会
27日 就職ガイダンス

13日 夏季休業
14日 温交会役員会
18～20日 日本工学教育協会年次大会（名古屋工業大学）
24日 理工学研究科専攻長会議
学部紀要委員会
31日 工学部公開講座（中学生対象）「見えないものを観る」（～8月1日）

理 学 部

7月5日 出前講義（富山県立八尾高等学校）
6日 学部学生生活委員会
7日 出前講義（富山県立石動高等学校）
理工学研究科博士前期課程理学部会教育委員会
10日 学部教務委員会
11日 学部入試委員会
12日 第3年次編入学者選抜試験
理工学研究科博士後期課程部会
14日 学部学生生活委員会
17日 学部自己点検評価委員会
学部予算委員会
19日 理工学研究科博士前期課程理学部会
教授会
人事教授会
学部安全管理委員会動物実験安全専門委員会
24日 理工学研究科博士後期課程専攻長会議
26日 学部安全管理委員会排水安全専門委員会
27日 出前講義（富山県立福野高等学校）

工 学 部

7月4日 学部学生生活委員会
5日 平成13年度工学部編入学試験（学力選抜）
6～7日 富山消防署立入査察
7日 学部入学試験検討委員会
10日 学部運営委員会
11日 学部教務委員会
12日 教授会
専任教授会
理工学研究科博士前期課程工学部会
理工学研究科博士後期課程部会
理工学研究科博士後期課程部会（工学系）
平成13年度工学部編入学試験（学力選抜）合格発表

附 属 図 書 館

7月6日 北信越地区電子ジャーナル担当係長等会議
（本学当番）
7日 第2回50年史編集小委員会
10～14日 中学生の体験学習「14歳の挑戦」指導ボランティア
19日 第2回商議会

地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー

7月5日 交流振興会理事会・総会
14日 先端技術講演会
演題；「酸化チタン光触媒の基礎と応用研究最前線」
講師；橋本 和仁 東京大学先端科学技術研究センター教授
21日 第5回運営委員会
31日 先端技術研修（計測コース）（～8月4日）

総 合 情 報 処 理 セ ン タ ー

7月11日 第3回運営委員会

留 学 生 セ ン タ ー

7月17日 第1回運営委員会

水 素 同 位 体 科 学 研 究 セ ン タ ー

7月13日 第2回運営委員会

機 器 分 析 セ ン タ ー

7月27日 第2回運営委員会

編 集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL.(076)445-6029 FAX.(076)445-6033
印刷所 あけぼの企画㈱ 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL.(076)424-1755 FAX.(076)423-8899